

ノーモア・ミナマタ

東京支援連・サポーターニュース

第16号 2017年7月6日発行

◆連絡先◆ノーモア・ミナマタ 東京支援連絡会 (担当) 土田尚義
〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-3 10F
Tel.03-3352-3663 / FAX 03-3352-9476

次回弁論 7月19日(水)

- 14:00 裁判所前行動 14:20 傍聴券抽選
16:00 報告集会 会場・ハロー貸会議室3F (虎ノ門交差点からすぐ)
17:00 懇親会 会場・ニッショーホール地下 西安刀削麺酒楼 会費・3000円

今回は被告国・県とチツソがプレゼンテーション
傍聴席を満席にして、被告らを監視しよう

前日期日では、裁判官の交代を受けて、原告2名の意見陳述と原告代理人らによるパワーポイントを活用したこれまでの主張のまとめを行いました。今回は、被告国・県とチツソがこれまでの主張のまとめをします。傍聴席を満席にして、被告らがどんな主張をして、被害者を切り捨てようとしているのかを監視しましょう。

次々回以降の日程

10月20日(金) 1月17日(水) 3月28日(水)



6/7 総行動決起集会 ニッショーホール



デモ行進出発集会 日比谷公園霞門

熊本・新潟・近畿・東京 一枚岩の団結で勝利をかちとろう

6 / 7, 8 公害被害者総行動

公害被害者・弁護団・支援2000人が参加

公害被害者の全面救済、公害の根絶と平和を求める第42回全国公害被害者総行動が7日、東京都内で行われました。水俣病や福島原発被害、大気汚染やアスベストなど60団体、延べ約2000人が参加し、政府交渉やデモ行進、決起集会などに終日取り組みました。

ノーモアミナマタ訴訟でも、熊本、新潟、近畿、東京の原告、支援、弁護団が参加し、環境大臣交渉、環境省交渉、決起集会、チッソ本社前宣伝行動に参加しました(写真は決起集会の様子)。



公害被害者総行動の詳細については、同封の「月刊紙 ノーモア ミナマタ No.15」参照

環境省交渉の発言から

◆大石利生不知火患者会会長

見かけは普通のおじさんおばさんだが体の中身はボロボロだ。症状は同じなのに、被害者はどうして認定で区別されるのか。一人ひとりの声を聴いて前向きに実践してほしい。



◆森正直熊本原告団長

環境省交渉で、特殊疾病対策室長から「水俣病は終わっていない」との認識を示された。偏見差別は61年続いている。5月の慰霊式でも、小学6年生の子が、いまだ差別発言があるということ述べていた。症状があっても申請できない人がたく



さんいる。健康調査環境調査をやってくれと言っているのにやってくれていない。被害の掘り起こしをしたいからではなく、被害者全員を救ってほしくて言ってる。すべてを終わらせたいという一点なのだ。前向きに検討していただきたい。

◆皆川栄一新潟原告団長

裁判で国が出した、黒塗りで工場名が隠された証拠について、工場名を明らかにせよとうたえてきたが認められず意外で不本意だ。被害者は偏見差別をおそれて生きてきた。自分は水俣病と知らずに今になって症状が出たという人もいる。水俣病はこれ以上でないというところまで環境調査健康調査をやってほしい。



◆本田征雄熊本原告

身内の葬式があったが、環境省と交渉してきてくれ、と言われて今日はやって来た。妻は視野狭窄で、介護の仕事をしていて怪我をさせてはいけないと、辞めざるをえなかった。どれだけ苦労しているのか、実際に来て、見てほしい。

◆前畑勝治東京原告

情報がなく、救済に手を挙げられなかった人は多い。室長は周知徹底したというが、でも残された人は現にいる。門戸を広げる余地はないのか。
→これに対し、特殊疾病対策室長は広げるつもりはない、公健法で総合的に判断していくと回答



◆熊本弁護士団村山正則弁護士

環境省のやることが見えてこないのが噛み合わない原因。意見交換の場をもって、具体的にどのようなことがどこまで進んでるのかを示してほしい。特措法から8年、手法の開発と言って進んでいない。特措法に定めるように、積極的すみやかに、示してほしい。

原告団の団結を高めるために、このたび、副団長制を導入して、原告団の体制を強化しました。今後、世話人の拡充も目指していきます。今後、本人の健康状態や仕事との関係を勘案して、交代や追加を検討していきます。

原告団長 吉竹直行
副団長 秋山輝夫（支援連・サポーター担当兼）
迫田英一 土田絹子 前畑勝治
世話人 伊藤鈴子 石田祐子 木原由香
鈴木芙美子 三反田豊 瑞泉直記
濱崎盛正

この水俣病のたたかいを勝利させるために、サポーターになってください。

裁判傍聴を是非お願いします。

- ① サポーターニュース（裁判期日のご連絡、裁判の進行状況についての説明）を発信します。
 - ② 集う会の企画など関連する情報の提供をします。
 - ③ 年会費1000円をお願いします。
- ※新しくサポーターになっていただく方には、同封の払込票でお支払ってください。

既にサポーターになられている方へ

年会費未納の方は、同封の払込票に必要事項ご記入の上、年会費1000円をお振込みください（郵便振替 0170-7-587014）。

なお、不明な点がありましたら、下記担当者までご連絡ください。

記

ノーモア・ミナマタ 東京支援連絡会（担当）土田尚義

〒160-0022 東京都新宿区新宿 2-1-3 10F

Tel.03-3352-3663 / FAX 03-3352-9476